

篠山市版

地域でのアライグマ捕獲の進め方

●NPO法人 大山捕獲隊 ■作成協力 兵庫県森林動物研究センター
アライグマ研究グループ
篠山市農都創造部農都創造課

① 地域で作戦を立てよう。

みんなで考えよう。アライグマ捕獲のABC

① 情報収集と情報発信の仕組みを作る。

- 捕獲による密度低減の効果は、捕獲を行う**時期**によって異なります。
- もっとも効果的な時期に捕獲努力を集中させましょう。
- 新鮮な情報を集めることが重要です!!

② ワナを選ぼう。

- 十分な強度を持ったワナを選ぶ (アライグマはとても力が強い生き物です)。
- 強度に不安があるワナは、補強をしましょう。

③ ワナを掛ける場所を決めよう。

- アライグマは水辺で捕獲しやすい動物です。
- 生息情報のあった付近の水辺に設置しましょう。
- 設置条件がいいところで、毎日の見回りがしやすい場所を選びましょう。

④ ワナは出来るだけ平らで安定した場所に。

- ワナが転倒すると、捕獲したアライグマが逃げる恐れがあります。
- 杭や重石でワナの転倒を防止しましょう。



② アライグマ生息の実際

住民のかたが日々の生活の中でアライグマを見かけることがあります。被害についてはもちろんですが、見かけた場所や時間・頭数等、**情報の収集が捕獲の第一歩**です。



捕獲の五原則

(1) 捕獲体制の整備

- ①連絡体制の整備。
- ②ワナ（捕獲機材）の準備。
- ③捕獲従事者の確保。
- ④捕獲個体の処理については、行政と連携しスムーズに動くように体制を整備することが重要です。

捕獲従事者＋捕獲協力者

仲間づくり

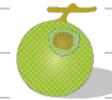
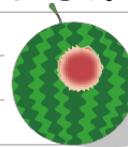
見回り役や
情報提供者

(2) 被害、目撃情報の確認

1. どのような被害が出ているのか。

- ①どの辺りで、どの程度の範囲が被害に遭っているか。
- ②どんな作物が被害に遭っているか。

アライグマ



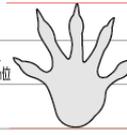
穴を開けて喰われた
スイカとメロン

2. 現場に残されている痕跡を確認する。

- ①被害状況を確認して、足跡や痕跡を記録する。
(被害量や食痕、食害状況の写真等)

②周辺の痕跡を確認する。

前足
4~5 cm位

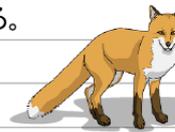


後足
10~11 cm位

3. どのような動物が来ているのかを確認する。

- ①大型（猪か鹿）か、小・中型（兎・狐・狸）かを知る。
- ②短期間の餌付け（スナック類）を行い様子を探る。
- ③黒ビニール等を敷いて踏ませ、足跡や獣種を知る。

アライグマの足跡



キツネ



タヌキ

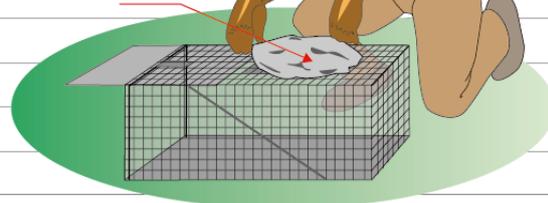
(3) ワナの設置

1. ワナの設置。

- ①被害の出ている圃場や、河川・湖沼・池・獣道等、アライグマの通り道を考慮してワナを設置する。
- ②ワナは、安定させることが重要。出来るだけ平らで安定した場所に設置する。重石はワナの転倒防止にワナの上に乗せて使用する。
- ③見回りやエサ交換、捕獲個体の回収も考慮に入れて、管理しやすい所を選ぶ。

ワナが傷んでいないか常に
チェックをしながら。

(重石)



・アライグマは怪力の持ち主!!
安定が一番。
・作業は手袋をはめて安全に。

(4) ワナの管理

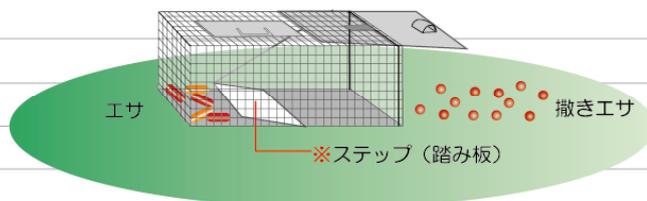
1. 見回り。

- ①原則、毎日見回るようにする。
- ②捕獲した個体は出来るだけ早急に処置をする。
- ③近所の人にも協力を依頼し、ワナに動きがあったら知らせてもらえるような体制を作りましょう。



2. エサ交換

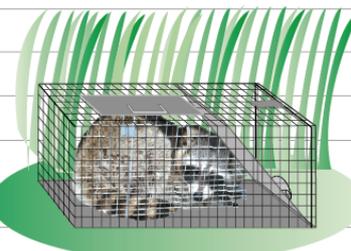
- ①エサの種類：甘く匂いの強いエサが有効です。お菓子や果物・ドーナツ・インスタントラーメンなどがよく使われています。
- ②エサの撒き方：ステップ（※）よりも奥にエサを撒きます。撒き餌も有効ですが、日中に撒くと他の動物や鳥に食べられてしまうので、夕方以降に撒くと良いでしょう。
- ③エサの鮮度：鮮度の良いエサの方が良く捕まります。日持ちする工夫をしたり、劣化しにくいものをエサに選びましょう。



捕獲後は、素手でワナを触らないようにしましょう。
皮手袋をはめて捕獲後の処理を行いましょう。

3. ワナの管理。

- ①周囲の草刈りや、こまめなメンテナンスが重要です。細かい気配りと管理が捕獲率を高めます。
- ②河川敷等で、降雨時にはワナが浸水したり、流失する恐れがあるので、水位の変動には注意しておきましょう。
- ③ワナは長期間放置せず、こまめに洗浄や修繕を施すようにしましょう。



(5) エサの種類や設置場所の再検討

- ①一週間以上反応の無かったワナは、エサを交換するか、場所の移動、あるいは撤去することを検討しましょう。だらだらと長引かせないことが重要です。
- ②同じ場所で捕獲が続くと捕獲効率が低下することがあります。その場合、少し時間をおいてワナを再設置するなどの工夫をしましょう。

③ 捕獲計画図面を作りましょう。

◎水系（河川や池）を入れたマップを作る。



●アライグマは水辺を中心に活動する生き物です。

- 効果的な捕獲計画を立てるため、まずは水系を入れた地図を作ってみましょう。地域の管内図は、自治体で購入することができます。
- 地図には、捕獲地点や被害・目撃情報、ワナの設置位置を書き込んで、みんなが見られる所に掲示します。
- 新たに更新された情報を書き込むことで、地域の人々の関心を高める効果が期待できます。

④ ワンポイントアドバイス

- 野外で捕獲を行う場合、エサの鮮度を保ち、ワナの劣化を防ぐ目的で、覆いをかけたり、床にシートを敷くなどの工夫をしています。
- このような対策は、鳥類（カラス等）のエサ盗り防止にも有効です。
- ワナの転倒防止の為に、ワナが歪まない程度の重石を乗せるのも有効です。

- 河川敷にワナを置く場合は、入り口を川下に向けて仕掛けるとかかりやすくなります。
- 夏場は、「カラス」のエサ盗りが多発し、秋から冬場は「イタチ」の混獲が増加します。



・このような形が完成形になります。（適当な重石を置いて飛ばさない様に）
 ・肥料の袋を開いて横にカットすると、丁度屋根の大きさです。



付録 捕獲時期の選定

1. アライグマの生態を知る。

- ①アライグマの繁殖周期と捕獲効率の情報から、捕獲適期を知る。
- ②4月末から6月末の二ヶ月が捕獲には最適な時期。

【アライグマの一年】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	交尾期										
	妊娠期間										
		出産期									
			授乳期								
				離乳期							
捕獲効率【低】	捕獲効率【高】	最適捕獲時期			捕獲効率【中】	捕獲効率【低】					
アライグマの数を減らす絶好の時期。											

【平成 23 年、24 年度、地域づくり活動支援モデル事業（県モデル事業）により作成しました。】 無断転載禁止